

大正五年四月六日第三種郵便物認可  
昭和十七年三月廿四日印刷納本（毎月一回一日發行）

# 哲 學 研 究

第 二 十 七 卷 第 四 册

第 三 百 三 十 號

昭和十七年四月一日發行

都市國家の成立……………山内得立

良心と惡……………武藤一雄

物性の論理……………矢内原伊作

—ヘーゲルの精神現象學に於ける絕對知の成立に就いて—

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及共普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
  - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
  - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年五圓、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	天野	貞祐
文學士	白井	二尙
文學士	上野	照夫
文學博士	植田	壽藏
文學士	澤瀉	久敬
文學博士	高坂	正顯
文學士	高山	岩男
文學博士	木村	素衛
文學士	島	芳夫
文學博士	田邊	元
文學士	西谷	啓治
文學博士	野上	俊夫
文學博士	羽溪	了諦
文學士	久松	眞一
文學博士	本田	義英
文學博士	山内	得立

# 彙報

美學會例會

二月廿六日(木) 午後六時半 於 樂友會館

最近の寺寶調査に於ける二三の所見 島田修二郎氏

## 寄贈圖書

利根川東洋著 生みの哲學

東京理想社出版部  
定價 二圓八十錢

## 寄贈雜誌

二月號 哲學雜誌、一橋論叢、文化、基督教研究、法學、日本學研究、文化日本、社會學徒、興亞、全人、湖畔の聲、回教園、回教週報、一、

三月號 哲學雜誌、思想、理想、丁酉倫理講演集、信濃教育、日本學研究、湖畔の聲、興亞、回教週報、願懋、興亞週報、

### 前 號 目 次

福音の三一論的構造……………北 森 嘉 藏	獨創性に就いて……………澤 瀉 久 敬	ヘーゲルと國家的教育の理念(完)……前 田 博	高山岩男氏『文化類型學研究』讀後……下 程 勇 吉
-----------------------	---------------------	-------------------------	---------------------------

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市田中西浦町弘文堂書房  
内京都哲學會宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納  
付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務  
ハ弘文堂書房内京都哲學會へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」  
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致ス  
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌  
等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都帝國大學  
文學部内 京都哲學會

註文規定

- 一 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する  
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り  
下され度候
- 一 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御  
送附下され度候

昭和十七年三月廿四日印刷納本  
昭和十七年四月一日發行

編輯者

京都哲學會  
京都帝國大學文學部内

右代表者

澤 瀉 久 敬

發行兼  
印刷者

八 坂 淺 太 郎  
京都市田中西浦町四〇

印刷所

弘文堂印刷部  
京都市田中西浦町四〇

配給元

日本出版配給株式會社  
東京市神田區淡路町二ノ九

發行所

弘文堂書房  
京都市左京區田中西浦町四〇  
電話 上二〇〇九番

價 定

冊 數	定 價	郵 税
一 冊	金四拾五錢	金壹錢
六 冊(前金)	金貳圓七拾錢	不 申 受
十二冊(前金)	金五圓四拾錢	不 申 受